

2023年度

科目名称	公衆衛生看護学演習
授業コード	BK407
英語名称	Public health nursing seminar 2
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	高木 悦子 (医療科学部), 本田 順子 (医療科学部), 糸井 和佳 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本科目は、面接、健康相談、家庭訪問などの対人援助技術とコミュニケーション技法について演習を通して学ぶ科目である。 母子保健活動（親子保健）を中心に、新生児家庭訪問、乳児健診（問診、保健指導）1歳6か月児健診（問診、保健指導）、3歳児健診（問診、保健指導）の演習を通して、保健師の行う援助技術の基本を体得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本科目では、3名の担当教員全員が保健師としての実務経験があり、講義・演習を行う。
到達目標	この科目は、ディプロマポリシーの「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得している。」の実現と、カリキュラムポリシーの「地域の健康課題の解決のための個人・家族・集団・地域への継続的支援ならびに住民のニーズを事業化・施策化できる保健師教育科目（選択制）を配置する。」に該当する。 また、専門科目（専門分野）、「看護援助方法」のひとつである。 以下の5点を達成目標とする。 1. 家庭訪問の意義、目的、特徴を説明できる。 2. 新生児家庭訪問における計画立案、実施、評価ができる。 3. 4か月健診時の問診と保健指導を一人でできる。 4. 1歳6か月児健診の問診と保健指導を一人でできる。 5. 3歳児健診の問診と保健指導を一人でできる。
計画・内容	第1回：ガイダンス、家庭訪問、乳幼児健診の意義、目的、特徴 内容：演習 の概要（新生児家庭訪問演習、乳幼児健診演習） 担当教員：高木、糸井、本田（保健師） 第2回：新生児家庭訪問演習 準備 内容：訪問の手順・準備、新生児の情報収集とアセスメント項目の確認 担当教員：高木、糸井、本田（保健師） 第3回：新生児家庭訪問演習 準備 内容：母親の情報収集とアセスメント項目の確認、記録と評価の確認 担当：高木、糸井、本田（保健師） 第4回：新生児家庭訪問 演習 内容：保健師役として、家庭訪問のための準備を実施 担当教員：高木、本田、糸井（保健師） 第5回：新生児家庭訪問演習 内容：保健師役として、家庭訪問演習を実施 担当：高木、糸井、本田（保健師） 第6回：新生児家庭訪問演習 保健師役として、記録と評価を行う 担当：高木、本田、糸井（保健師）

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>第7回：問診の準備【乳児健診】4か月児の発育発達の確認、アセスメント項目の確認 担当：高木、本田、糸井（保健師）</p> <p>第8回：保健指導の準備【乳児健診】育児不安のある母親への保健指導準備 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第9回：問診の準備【1歳6か月児健診】発育発達の確認、アセスメント項目の確認 担当：高木、吉岡、糸井（保健師）</p> <p>第10回：問診演習【乳児健診】保健師役として、問診を行う 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第11回：保健指導演習【乳児健診】保健師役として、保健指導を実施 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第12回：問診演習【1歳6か月児健診】保健師役、母親役に分かれて演習を行い記録評価まで実施 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第13回：問診、保健指導演習【3歳児健診】3歳児健診の問診と保健指導を実施 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第14回：記録、評価を実施【3歳児健診】3歳児健診の記録と評価を実施 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p> <p>第15回：乳幼児健診のまとめ：母親の子育て支援について議論する 乳幼児発達 担当：高木、糸井、本田（保健師）</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>各回、学習内容が異なるため、オリエンテーションでは資料を基に説明を行うが、しっかりと内容の把握をすること。 本科目は保健師としての実践的演習科目であり、初回は事前学習課題を提示する。課題を行っていない学生は、演習には参加できないため、主体的に学習を深めておくこと。 グループごとに理解を深めるためロールプレイングを行う。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>理解を深めるためにロールプレイングを行う。グループ分けを行い、少人数でのディスカッションの機会を設け解決案を導いていく。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>教科書や授業で配布される資料と関連付けて自分の講義ノートを整理し、公衆衛生看護学実習で用いる基礎資料として各自作成する。（合計60時間程度）</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>【教科書】 1．厚生指針 国民衛生の動向（厚生統計協会） 2．公衆衛生看護第2版：上野昌子編著、中央法規 3．地域看護アセスメントガイド第2版：佐伯和子編著：医歯薬出版</p> <p>【参考書】 保健師業務要覧 第3版：井伊久美子、荒木田美香子、松本珠実他、日本看護協会出版会版</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>課題学修レポートと演習態度にて評価を行う（50%） 乳幼児の発達と地域の母子保健施策についての確認テスト（50%）</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>ロールプレイ実施後に随時コメントを行う。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>保健師教育課程学生は、必須科目であり、保健師教育課程の学生以外は選択できないので、留意すること</p>

2023年度

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面授業となった場合 Zoomによるリアルタイムの講義と演習によって、学生の個別の状況を確認しながら双方向の授業を実施する。 対面授業の成績評価方法に準ずる。
------------------------------------	--